

# Eウォール (大型積みブロック)

意匠登録

テクスチャー証明書

明度証明書

※NETIS掲載終了製品  
【平成29年3月末】

NETIS・SK-030002-V  
国土交通省 新技術情報提供システム

施工性に優れた、自立式大型積みブロックです。

【「道路土工、擁壁工指針」(平成24年7月)に準拠しています。】



リサイクル製品として、下水汚泥焼却灰入り製品などの製造も可能ですのでご相談ください。

緑化タイプとして、Eウォールグリーン®の製造も可能ですので、ご相談ください。

※1



- 表面の様子は自然景観にもよくなじむ石模様です。
- 前面の勾配は製品を吊り上げた状態では、5分(1:0.5)となります。
- 製品は箱型(中空)断面であるため、胴込め(中詰め)コンクリートとの一体化がはかれ、強固な擁壁が構築できます。
- 擁壁高さに応じた750、800、1000、1250、1500、2000タイプがあり、壁高の高い擁壁にも対応可能です。
- 標準品(基本:A)は製品長さ2mであり、曲線施工用に製品長さ1mの端部:Bもあります。



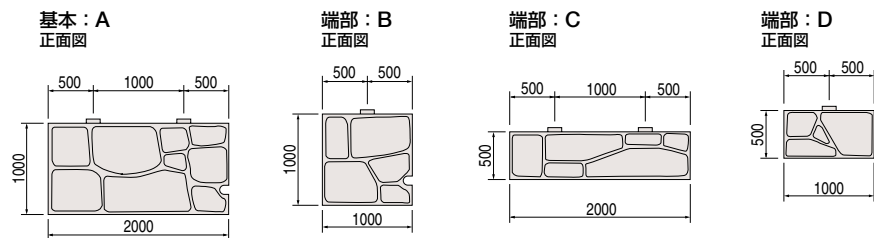
明度証明書  
取得工場:高松工場、柵原工場、東播商事(株)

[擁 壁]

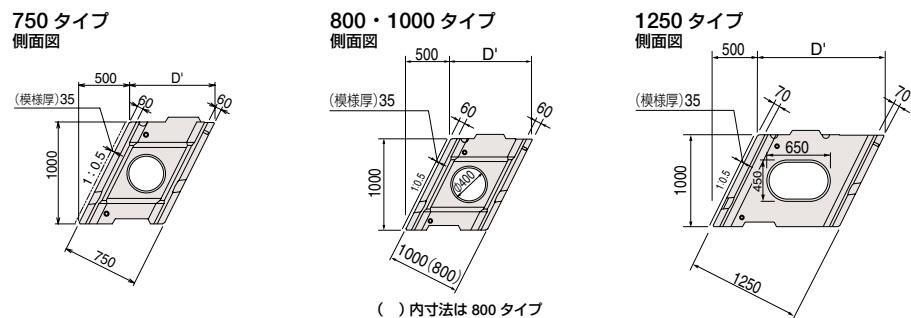
Eウォール

※NETIS掲載終了製品  
【平成29年3月末】

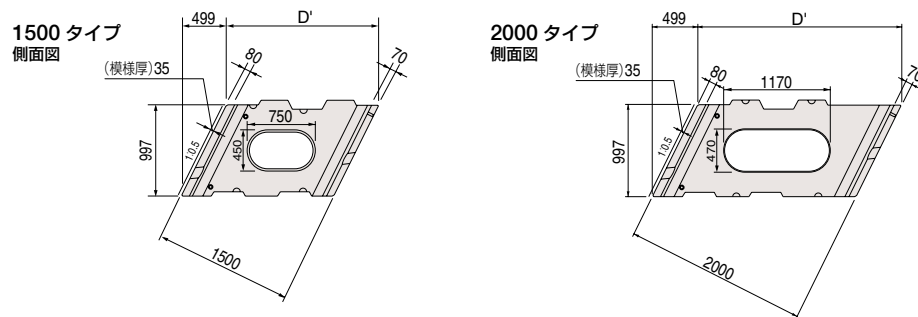
NETIS・SK-030002-V  
国土交通省 新技術情報提供システム



※表面の石模様は、実物は多少異なります。



( ) 内寸法は 800 タイプ

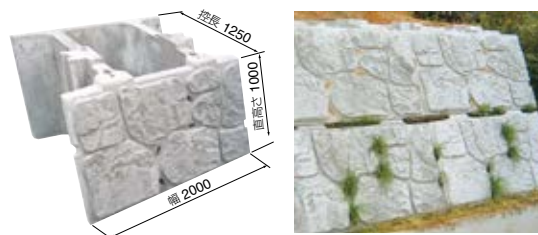


Eウォール エコロ (1250タイプ) ※詳しくはP500を参照してください。

Eウォールに生態系保全機能を付加した大型積みブロックです。

- 特長 胴込め材に中詰め石を投入することで、多孔質な生物の棲息空間を創出します。植生土のう等を使用すれば緑化も図れます。

※このタイプはNETISに登録されていません。



種類	規格名称	規格寸法(mm)		参考質量(kg)	備考
		幅×高さ(法長)×控長	D'		
750タイプ	基本:A	2000×1000(1118)×750	839	1350	胴込めコンクリート量: 1.118m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×1000(1118)×750	839	670	// 0.559m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×500(559)×750	839	640	// 0.559m <sup>3</sup> /個
800タイプ	基本:A	2000×1000(1118)×800	894	1480	胴込めコンクリート量: 1.197m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×1000(1118)×800	894	700	// 0.600m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×500(559)×800	894	790	// 0.600m <sup>3</sup> /個
	端部:D	1000×500(559)×800	894	380	// 0.300m <sup>3</sup> /個
1000タイプ	基本:A	2000×1000(1118)×1000	1118	1635	胴込めコンクリート量: 1.596m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×1000(1118)×1000	1118	780	// 0.798m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×500(559)×1000	1118	880	// 0.798m <sup>3</sup> /個
	端部:D	1000×500(559)×1000	1118	420	// 0.399m <sup>3</sup> /個
1250タイプ	基本:A	2000×1000(1118)×1250	1398	1965	胴込めコンクリート量: 2.080m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×1000(1118)×1250	1398	925	// 1.040m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×500(559)×1250	1398	1035	// 1.040m <sup>3</sup> /個
	端部:D	1000×500(559)×1250	1398	505	// 0.520m <sup>3</sup> /個
1500タイプ	基本:A	2000×997(1115)×1500	1677	2065	胴込めコンクリート量: 2.540m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×997(1115)×1500	1677	1055	// 1.270m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×497(556)×1500	1677	1060	// 1.270m <sup>3</sup> /個
	端部:D	1000×497(556)×1500	1677	470	// 0.635m <sup>3</sup> /個
2000タイプ	基本:A	2000×997(1115)×2000	2236	2455	胴込めコンクリート量: 3.412m <sup>3</sup> /個
	端部:B	1000×997(1115)×2000	2236	1220	// 1.706m <sup>3</sup> /個
	端部:C	2000×497(556)×2000	2236	1335	// 1.706m <sup>3</sup> /個
	端部:D	1000×497(556)×2000	2236	665	// 0.853m <sup>3</sup> /個

※1000タイプと1250タイプ、1500タイプと2000タイプの控長の異なる製品を組合せて使用(不等厚施工)する事が可能です。その他のタイプ同士の組合せは、上部凸部をカット(特注対応)することで対応可能です。ただし極端にサイズの異なるタイプの組合せは地震時などに応力の集中を受けやすいため、不等厚施工をご検討される場合は、あらかじめご相談いただけますようお願い致します。



胴込めコンクリートの打設



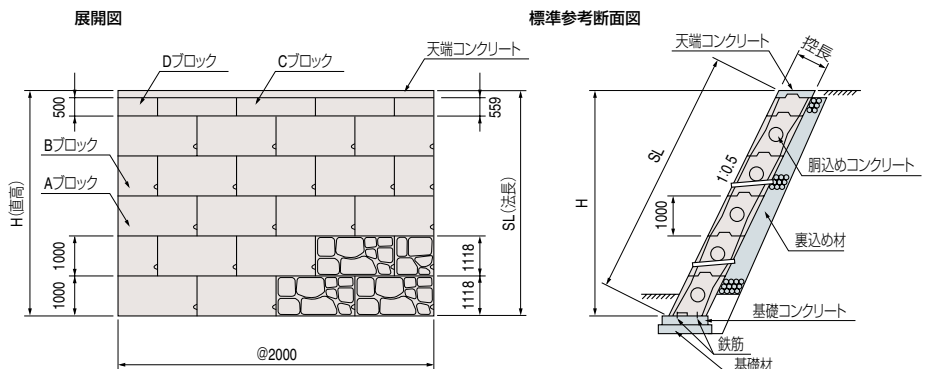
胴込めコンクリートの締め固め

[擁 壁]

Eウォール

※NETIS掲載終了製品  
【平成29年3月末】

NETIS・SK-030002-V  
国土交通省 新技術情報提供システム



※断面図は 800、1000 タイプの参考断面図です。  
※展開図、断面図は参考例ですので、ご使用にあたっては、設置場所・設置条件を考慮してください。  
※品質の改良により仕様・寸法・色・テクスチャなどに、多少の変更がある場合がございます。

工事費内訳 (直高 7.7m、製品 1000 タイプを使用した場合)

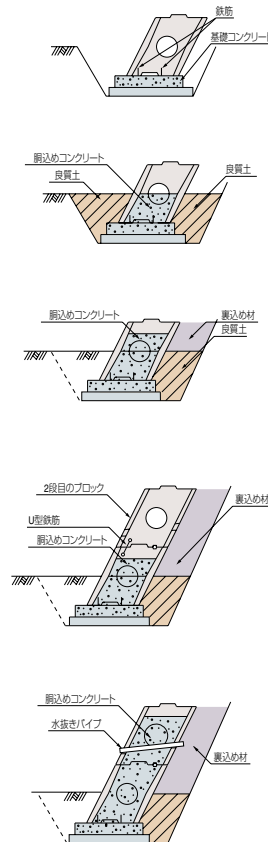
法長 8.609m × 延長 10.0m = 施工面積 86.09m<sup>2</sup> 当り  
法長 8.385m × 延長 10.0m = ブロック部面積 83.85m<sup>2</sup> 当り

製品	名称	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
製品	基本：A		32.0	個			5個×4段+4個×3段
	端部：B		6.0	個			2個×3段
	端部：C		4.0	個			4個×1段
	端部：D		2.0	個			2個×1段
	諸雑費 ※		1	式			製品代の1%
	小計						
据付け工	1m <sup>2</sup> 当り単価						
	世話役		0.84	人			0.1 × 83.85/10
	ブロック工		3.35	人			0.4 × 83.85/10
	特殊作業員		1.68	人			0.2 × 83.85/10
	普通作業員		1.68	人			0.2 × 83.85/10
	ホイールクレーン賃料	油圧式 15 ~ 16t 吊	1.68	日			0.2 × 83.85/10
	胴込め工	Fc=18N/mm <sup>2</sup>	59.9	m <sup>3</sup>			1.60 × 83.85/2.24
	裏込め工	クラッシュラン 0 ~ 40mm	25.2	m <sup>3</sup>			0.30 × 83.85
	諸雑費		1	式			労務、機械の4%
	小計						
基礎工	1m <sup>2</sup> 当り単価						
	基礎コンクリート	Fc=18N/mm <sup>2</sup>	2.80	m <sup>3</sup>			0.20×1.40×10.0
	同上型枠		4.00	m <sup>2</sup>			0.2 × 2 × 10
	砕石	クラッシュラン C40 ~ 0	16.00	m <sup>2</sup>			1.60 × 10.0
	鉄筋	D16	24.96	kg			1.56×2×0.40×10/0.5
天端工	天端コンクリート	Fc=18N/mm <sup>2</sup>	2.24	m <sup>3</sup>			0.20×1.12×10
	同上型枠		4.47	m <sup>2</sup>			0.2×1.12×2×10.0
合計							
1m <sup>2</sup> 当り単価							

※ 1. 製品の諸雑費には、連結プレートおよびボルトなどを含みます。  
2. 据付け工の諸雑費には、水抜きパイプおよびフィルターなどを含みます。  
3. 〃の下線の付いている数値はタイプ (750 ~ 2000) により変わります。

施工要領

- 1): 基礎工**  
●基礎コンクリートを打設します。
- 2): 1 段目の据付け**  
●ブロックをクレーンで吊り上げ、基礎コンクリート上に据付けます。
- 3): 1 段目の胴・裏込めコンクリートの施工**  
●1 段目の据付けを終了した後、地盤高までコンクリートを打設します。ブロックの前面は、良質土で埋戻します。
- 4): 1 段目の胴込めコンクリート、裏込め材の施工**  
●裏込め材を充填した後、胴込めコンクリートをブロックの上面より 20cm 程度下げた位置まで打設します。
- 5): 2 段目の据付け**  
●2 段目のブロックを据付けます。  
●転倒防止のため、上下ブロックを U 型鉄筋にて仮止めします。
- 6): 2 段目の胴・裏込めコンクリート、裏込め材の施工**  
●水抜きパイプを設置し、裏込め材を充填した後、ブロック上面より 20cm 程度下げた位置までコンクリートを打設します。
- 7): 天端コンクリートの打設**  
●3 段目以降も同様の施工を繰り返して、所定の段数まで施工が終わったら、天端コンクリートを施工します。
- 8): 完成**



●現場打ち部分や曲線施工にご使用いただける「Eウォール」専用発泡スチロール型枠もご用意しております。



サイズ：1000 × 1118

